Japanese Laid-Open Patent Application Publication No. 51-49022 Claim

An instrument that has a reflecting surface 6 on one side thereof and a reflection diffusing surface 7 on an opposite side thereof and is capable of improving directivity.

特 許 願

長官殿

スピーカーから出た音を反射拡散し、 1. 発明の名称 指向特性を改善する器具。

2. 発 者

フリガナ 住 所 (居所)

(特許出願人に同じ)

3. 特許出願人

特許疗

郵便番号

マッポナ 住 所 (選所) 福岡県福岡市東区元早1024

添付書類の日録

- 明細書 (1)
- (2)X 面
- (3) 願御副本
- (4)
- 涌 通

通

通)

49 10, 28 HEA.

19-123507

と 日本国内町丁

①特開昭 51 - 49022

43公開日 昭51. (1976) 4.27

②)特願昭 47 123407

22出願日 昭49 (1974) 10. 24

審査請求 未請求 (全2 頁)

广内整理番号 6464 44

62日本分類

102 K221

1 Int. Cl2

HO4R 1/34

1. 発明の名称

スピーカーから出た音を反射拡散し、指向特性 を改善する器具。

2 , 特許請求の魀囲

本文に詳記する如く片側に反射面 6 を有し反対 郷に反射拡散面 7 を有する指向特性を改善する器 具。

5. 発明の詳細な説明

この発明はスピーカー等から出た音を反射拡散 させ指向特性を改善する為のものである。今迄に も良い音への工夫はいろんな形でなされた。スピ ーカー自体の形の改造、又、スピーカーの前面に **障害物を付けそれに当る音の散乱による改善、そ** の他があつた。本発明もスピーカーの前面に位置 するものであるが当る音の処理が以前のものとは 異る。

それを図面について説明すれば、1.2.3. 4 - 5 は反射拡散リングで、大きさの違う反射拡 **勧リング1の断面の形をしたものが反射拡散リン**

グ1を中心にリング状をなしたもので各リング同 志はつなぎ8等により固定している。スピーカー から出た音は直接各リングの間を通り抜ける音と スピーカー側の面6に当り反射関係にある円弧を なしている反スピーカー側の面1に当り反射する 音に大別される。面 6 に当つた音は入射角と同じ 角度で面でに反射する。面でがまつすぐな面であ れば面6より反射してきた音は面りに当り同じ幅 で反射するが面1が円弧をなしているので面6よ り反射してきた幅より面1は拡散反射し耳へと閉 えてくる。これが本発明の特長である。他のリン グも同様である。今迄の方法として角棒等の障害 物をスピーカーの前面に並べておく場合では、ス ピーカーから出た音は角棒の面の部分に当り再び スピーカー側に反射する。これを、本発明の特長 である面6の部分がとがつているので前配する様 にスムーズにスピーカーの外側に音を反射し拡散 する。又、各リングの断面の中心は同一円周上に あり他の反射面、 拡 骸面も前記する様な反射関係 をもちスピーカー領より反スピーカー側の方がス

うに開いている。反スピーカー側の先端は危険防止の為音の拡散にはあまり影響がないので角を丸くすると良い。

本発明を使用する事だより音質、音楽の雰囲気が変わるので、一個のスピーカーで 二種類の音が

かしかいのかに 何かい、ひりにもるになり

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の平面図

第2図は本発明の側面図

第3図は第1図のI-I線に沿り断面図

1 · 2 · 5 · 4 · 5 : 反射拡散リング 6 : スピーカー 側反射面 7 反スピーカー 側反射拡散

面 8:リング間つなぎ 9:取付金具

特許出顧人 高 野 栄 喜

